

5款 労 働 費

1項 労 働 諸 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
労 働 諸 費 (産業雇用政策課)	1 働く女性応援事業費	2,247	国 1,089	—	1,158
	(説 明) 女性の雇用継続や管理職登用の推進と、男女ともに働きやすく、仕事と子育てを両立できる職場環境づくりに取り組む中小企業を認証・公表し、企業のイメージアップと、女性が働きやすく活躍できる職場環境づくりの促進を図った。 また、認証企業の中でも、より多くの取組を継続して行う企業をゴールド企業として認証し、市内企業の女性活躍への取組の更なる推進を図った。 ○働く女性応援企業認証事業 ・新規認証企業数 11社 ・ゴールド認証企業数 4社				
	2 女性活躍推進セミナー開催費	1,676	国 677	—	999
	(説 明) 就職や職場復帰に不安を抱える女性や仕事と育児との両立を目指す女性を対象にデジタルスキルセミナーを開催し、就職や再就職、在宅ワーク等多様な働き方への支援を図った。 なお、応募者多数のため参加できなかった方へは、セミナー映像のアーカイブ配信を行った。 ○Webスキルアップセミナー ・参加者数 20人 ・内 容 lesson1 「多様な働き方&Googleツール講座」 lesson2 「オンラインデザインツールCanva講座」 lesson3 「Chat GPT講座」 lesson4 「リアル動画講座」				
	3 若年者就職支援事業費	378	—	—	378
	(説 明) 市内企業の労働力確保を図るため、高校生を対象とした就職支援事業を行った。 ○高校3年生対象企業説明会 ・参加者数 527人 ・参加企業数 63社				

5款 労 働 費

1項 労 働 諸 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
	4 障がい者雇用推進事業費	131	—	—	131
	(説 明) 障がい者雇用に積極的に取り組む中小企業を認証・公表し、企業のイメージアップと、障がい者が働きやすく活躍できる職場環境づくりの促進を図った。 また、認証企業の中でも、より多くの取組を継続して行う企業をゴールド企業として認証し、市内企業の障がい者雇用への取組の更なる推進を図った。 ○障がい者雇用推進企業認証事業 ・新規認証企業数 1社 ・ゴールド認証企業数 1社				

6款 農林水産業費		1項 農 業 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
農 業 総 務 費 (農業企画課)	1 福島大学食農学類連携事業費	2,000		－	－	2,000
	(説 明) 学生に対し、本市農業の理解及び地元産業への人材定着を促し、地域農業の課題解決など本市農業に資するため、フィールド実習を重視した実践型農学教育プログラムの実施を福島大学食農学類に委託した。 ○実施内容 ・摘果モモの粉末を用いた加工品のアンケート調査 ・摘果モモに含まれる成分分析 ・廃棄される果実袋を利用した紙薪作成とその燃焼に関する調査					
農 業 振 興 費 (農業企画課)	1 農地中間管理事業費	2,362		－	受託事業収入 2,317	45
	(説 明) 農地の管理効率を向上させ持続可能な農業生産を促進するため、所有者から農地を借受け、担い手に貸し付ける農地中間管理機構と連携・協力して担い手への農地集積・集約化を支援した。 ○受 託 業 務 ・筆数、面積 460筆、70ha ・貸付件数（機構→借受者） 106件 ・借入件数（貸付者→機構） 124件					
	2 スマート農業実装支援事業費	23,911		－	基金繰入金 23,911	－
	(説 明) スマート農機具の導入を支援し、農作業の効率化及び省力化、並びに生産性の向上を図った。 ○補助件数 38件					
	3 脱炭素設備導入支援事業費	960		－	基金繰入金 960	－
(説 明) 農業用・売電事業用の太陽光発電設備等を設置する農業者を支援し、再生可能エネルギーの普及促進と農業経営の安定化を図った。 ○補助件数 2件						

6款 農林水産業費		1項 農 業 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入
	4 米粉等利用拡大支援事業費	698	—	—	698
	(説 明) 国内で唯一自給可能な穀物である米を原料とした米粉の利用拡大のため、米粉等を活用した商品の開発及び生産を支援した。 ○交 付 件 数 ・開 発 支 援 6件 ・生 産 支 援 5件				
	5 鳥獣被害対策強化事業費	47,779	県	6,300	雑入 52 41,427
	(説 明) 関係機関との連携のもと、サル、イノシシ、カラスなどによる農作物の被害軽減を目的とする有害鳥獣被害対策事業を推進し、農家経営の安定を図った。 ○有害鳥獣被害対策協議会事業 18,082 ○イノシシ捕獲対策事業 13,225 ・有害捕獲・狩猟捕獲 575頭 ・専門員捕獲 88頭 ・県指定管理捕獲(県事業) 416頭 ○侵入防止柵整備事業 4,100 ・設置件数 84件(新規12件、補修72件) ・施工内容 2,360m ○その他 12,372				
	6 ツキノワグマ被害等特別対策事業費	4,632	県	3,567	基金繰入金 915 150
	(説 明) ツキノワグマによる被害を防止するため、地域住民が主体となって行う取組を支援したほか、一般向け、小学生向けに「ツキノワグマ防災教室」を開催した。 また、捕獲したツキノワグマにGPS首輪発信器を装着し、行動パターン等の調査分析を行った。 ○野生鳥獣被害防止地域づくり事業 2件 3,567 ○ツキノワグマ防災教室 58 ・一般向け 1回 ・小学生向け 4回 ○ツキノワグマ用GPS首輪発信器 6個 1,007				
	7 中山間地域等直接支払交付金事業費	69,039	県	48,005	— 21,034
	(説 明) 遊休農地の発生防止及び農用地の保全と多面的機能の確保を図るため、中山間地域等で農業生産活動等を行う農業者に対し交付金を交付した。 ○交 付 件 数 64件				

6款 農林水産業費

1項 農 業 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(農 業 振 興 課)	8 環境保全型農業直接支払交付金事業費	2,555	県	1,930	－	625
	(説 明) 地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に対して交付金を交付し、環境保全型農業の促進を図った。 ○交 付 件 数 4件 ○対 象 面 積 32.4ha					
(農 業 企 画 課)	9 新規就農者育成総合対策事業費	80,157	県	80,157	－	－
	(説 明) 次世代を担う農業者の就農意欲の喚起と営農定着、地域農業の活性化を図るため、原則50歳未満の独立・自営就農者等に対して、経営確立・発展を支援する補助金を交付した。 ○農業次世代人材投資事業					

6款 農林水産業費

1項 農 業 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入
(農 業 振 興 課)	12 四季の里整備費	82,729	—	債 59,400	23,329
	(説 明) 来園者の安全かつ快適な施設利用を図るため、駐車場の拡張に向け事業用地を取得し、整備工事に着手した。 ○駐車場拡張工事 43,560 ○駐車場拡張工事に係る用地取得費 22,464 ○将来構想検討業務委託 12,994 ○アスベスト含有分析調査業務委託 1,485 ○農園レストラン産業廃棄物収集運搬処理業務委託 682 ○農園レストラン厨房機器撤去に伴う配管切離し工事 246 ○その他 1,298				
	13 ふくしまの農産物魅力アップ事業費	4,062	—	基金繰入金 1,595	2,467
	(説 明) 重点消費地や交流都市等へのトップセールスのほか、Ｆ－ＢＯＸの活用推進や消費者用パンフレット作成・配布などを通じて、本市産農産物のＰＲと消費拡大を図った。 ○トップセールス推進事業 ・首都圏トップセールス 実 施 月 日 7月25日～26日 実 施 場 所 東京都中央卸売市場淀橋市場、荒川区、都内量販店 ＰＲ品目 モモ ・九州地区トップセールス 実 施 月 日 7月31日～8月2日 実 施 場 所 福岡市中央卸売市場、長崎市中央卸売市場、福岡大同青果、北九州青果 長崎でじま青果 ＰＲ品目 モモ ○Ｆ－ＢＯＸ活用推進事業 ・作 成 数 贈答用2種 4,500枚 ○消費者向け農産物パンフレットの作成 ・作 成 数 8,000部				
	14 福島駅前軽トラ市開催事業費	5,956	—	—	5,956
	(説 明) 福島駅前通り及びWe bにおいて軽トラ市を開催し、消費者へ市産農産物や6次化商品等の安全性、美味しさを伝えるとともに、販売促進及び販路拡大を図った。 ○福島駅前軽トラ市 ・開 催 月 日 8月25日、9月22日、10月27日、11月24日 ・会 場 福島駅前通り（歩行者天国） ・来 場 者 数 19,883人（8月：5,141人、9月：3,115人、10月：6,265人、11月：5,362人） ○We b福島駅前軽トラ市 ・開 催 期 間 4月1日～7年3月31日 ・出 店 者 数 31店舗 ・アクセス数 30,037件				

6款 農林水産業費

1項 農 業 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入
(農 業 企 画 課)	15 地域でつくる農林業振興基金事業費	20,173	—	基金繰入金 20,173	—
	(説 明) 農業者団体等から提案のあった取組を支援し、農林業における地域の課題解決を図った。 ○補 助 件 数 11件				
(農 業 振 興 課)	16 脱炭素・循環型農業支援事業費	1,741	—	基金繰入金 1,717	24
	(説 明) 炭化器を活用して果樹剪定枝等を炭に変え、保肥力を高める土壤改良材として活用することで、果樹剪定枝等の有効活用の推進を図った。 また、果樹剪定枝の提供者と利用者を本市が仲介し、マッチングすることで野焼きの未然防止による温室効果ガスの排出抑制を図った。 ○炭々まで枝活用推進事業（炭化器購入費用への補助）1,717 ・ 交 付 件 数 37件 ○果樹剪定枝まきストープ等マッチング事業 ・ 申 込 者 数 114人（提供者35人・利用者79人）24				
	17 気候変動適応型農業支援事業費	7,611	—	基金繰入金 1,906	5,705
	(説 明) 気候変動による大雨や猛暑などの極端化する気象やそれに伴う病害虫のまん延に対して、農作物への被害低減や収量確保につながる取組を支援し、生産者の経営安定と農産物の品質維持を図った。 ○モモせん孔細菌病防除事業（防除薬剤購入にかかる費用への補助）2,705 ・ 交 付 件 数 1件 ・ 対象農家数 641戸 ・ 対 象 面 積 366ha ○雨よけハウス等導入支援事業（品質保持のための果樹栽培施設整備にかかる費用への補助）3,000 ・ 交 付 件 数 3件 ・ 対象農家数 3戸 ・ 対 象 面 積 50.7a ○農地渇水・高温対策支援事業（水源確保のための井戸掘削等にかかる費用への補助）1,906 ・ 交 付 件 数 5件 ・ 対象農家数 5戸 ・ 対 象 面 積 283a				
(観光交流推進室)	18 ふくしまスカイパーク費	26,281	—	使用料 10,645	15,636
	(説 明) 4月より直営管理を開始した。室屋選手が代表をつとめ、ふくしまスカイパークを拠点とする（株）パスファインダーと連携し、9月にイベント「空ろボ秋まつり」を初めて開催するとともに、11月には「空」をテーマとした連携協定を締結し、地域活性化を図った。 ○年間来訪者数 27,806人(航空関係者、一般見学者等)				

6款 農林水産業費

1項 農 業 費

(単位 千円)

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(農 業 振 興 課)	19 風評対策費 (復興事業費)	1,728	県	1,344	－	384
	(説 明) 消費者に本市産農産物の品質の高さや安全性など正確な情報発信を行うため、イベントの開催や広報物等の作成・配布などを行い、風評の払拭を図った。 ○安全安心くだものPRパンフレットの作成 ・ 作 成 数 124,500部 ○市産農産物安全安心発信事業 ・ 実 施 月 日 9月28日～29日 ・ 参 加 者 数 14人 ・ 会 場 環境再生プラザ、市内果樹園ほか					767 961
	20 果実消費拡大事業費 (復興事業費)	7,930		－	－	7,930
	(説 明) 福島県くだもの消費拡大委員会の構成団体と連携し、首都圏や九州地区等の重点消費地において、ミスピーチキャンペーンクルーによる福島産くだものセールスを展開した。 また、県内外で広くPR活動を実施し、福島産くだもの消費拡大と風評の払拭を図った。 ○PR活動実施状況 ・ 日 数 157日(モモ90日、ナシ15日、リンゴ16日ほか) ○鉢植え果樹を活用したPR ・ モモ(あかつき)狩り取り 実 施 月 日 7月30日 場 所・人数 野田保育所 57人 ・ リンゴ(ふじ)狩り取り 実 施 月 日 11月22日 場 所・人数 渡利幼稚園 24人 ○鉢植え展示 ・ モモ(あかつき) 展 示 期 間 7月30日～8月9日 展 示 場 所 JR福島駅 東西連絡通路、新幹線改札内コンコース ・ リンゴ(ふじ) 展 示 期 間 11月22日～28日 展 示 場 所 JR福島駅 東西連絡通路、新幹線改札内コンコース ○ホームページ・SNSを活用したPR ホームページやInstagramを活用し、旬のくだものやイベント、キャンペーン情報等を発信し、福島産くだものファン獲得、消費拡大を図った。					

6款 農林水産業費

1項 農 業 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
	21 放射性物質吸収抑制対策事業費 (復興事業費)	16,255	県	16,255	—	—
	(説 明) 東日本大震災後初めて水稻を作付けするほ場を持つ営農者に対して吸収抑制資材を支給し、放射性物質の移行抑制を図った。 また、果樹の改植により、果実への放射性物質の移行抑制を図った。 ○実施面積 ・水 稻 0.52ha ・果樹の改植 6.37ha ○管理台帳の整備					16,042 213
	22 地域の恵み安全対策協議会運営補助事業費 (復興事業費)	4,998		—	—	4,998
	(説 明) 園芸品目の放射性物質検査及び米のモニタリング検査(県実施)を推進する「福島市地域の恵み安全対策協議会」に対し補助金を交付し、本市産農産物の安全性の確保と消費者の信頼回復を図った。 ○園芸品目検査 ・検 査 品 目 174品目 ・検 査 件 数 6,743件					
畜 産 業 費 (農業振興課)	1 酪農振興対策事業費 (復興事業費)	1,168		—	—	1,168
	(説 明) 原子力災害の影響により様々な負担を強いられている畜産農家を支援するため、資質の高い子牛の生産により優良な後継牛の確保などを推進し、畜産振興を図った。 ○受精卵移植推進事業 ○性別別優良精液推進事業					223 945
	2 放射性物質吸収抑制対策事業費 (復興事業費)	2,479	県	2,479	—	—
	(説 明) 吸収抑制資材を農家へ支給し、牧草への放射性物質移行の抑制を図った。 ○実 施 面 積 ・カリ肥料の散布 18.46ha					

6款 農林水産業費

1項 農 業 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
農 地 費 (農林整備課)	1 農業水路等長寿命化・防災減災事業費	40,860	県	25,600	債 12,900	2,360
	(説 明) 県営事業「農村地域復興再生基盤整備事業 松川岩堰地区」に関連し、堰の統合により不要となった旧堰2基の撤去工事を行った。 ○松川町熊ノ田地区 ・工事請負費 40,758 ・負 担 金 102					
	2 施設改修費	35,896		—	基金繰入金 20,727	15,169
	(説 明) 農業用施設を整備し、農業経営の安定を図った。 ○水 路 工 松川町関谷柴平地区 ほか 26地区 ○道 路 工 松川町下川崎鍛冶屋山地区 ほか 3地区 ○た め 池 平石山ノ神地区 ほか 2地区					
	3 農村地域防災減災事業費	2,997		—	—	2,997
	(説 明) 堤体からの漏水が確認されている防災重点農業用ため池について、県営事業にて堤体改修工事を行った。 ○県営土地改良事業に係る市町村負担金(高谷沼地区 ため池等整備事業) 2,976 ○特別賦課金(高谷沼地区 農地防災ため池整備事業) 21					
	4 農道橋梁維持改修費	144		—	—	144
	(説 明) 「福島市農道施設長寿命化計画」(個別施設計画)に基づき、農道橋梁の定期点検基礎調査を行った。 ○基礎調査 14橋					

6款 農林水産業費 1項 農 業 費 (単位 千円)

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
	5 農業施設災害防止緊急対策事業費	23,241		－	債 23,200	41
	(説 明) 老朽化等により施設の劣化が著しい普通河川について、予防保全の考え方に基づき施設の保全を図るため、農業水利施設の整備を行った。 ○古荒川護岸改修工事 7,643 ○川端排水路整備工事 2,068 ○茂田川支流排水路整備測量設計業務委託 8,745 ○松川町関谷柴平排水路整備測量設計業務委託 4,785					
	6 田んぼダム事業費	19,848	県	16,400	基金繰入金 2,243	1,205
	(説 明) 田んぼが有する雨水貯留機能を活用し、大雨時に洪水被害を軽減させるべく田んぼダムの取組を実施した。また、松川町水原地区に加え、新たに大波、山口地区への整備を行った。 ○松川町水原地区 田んぼダム用排水樹設置工事 6,984 ○大波地区 田んぼダム用排水樹設置工事 6,116 ○山口中入地区 測量設計業務委託 6,710 ○特別賦課金 38					
	7 多面的機能支払対策事業費	146,673	県	110,389	－	36,284
	(説 明) 農業・農村が有する多面的機能が適切に発揮されるよう、地域ぐるみで農地・農業用水等の地域資源を保全管理する46組織を支援した。					
	8 地籍調査事業費	12,837	県	4,650	手数料 雑入 605 17	7,565
	(説 明) 国土調査法に基づく地籍調査事業を実施し、地籍の明確化を図った。 ○大波第19地区 A＝0.03km ² 地籍測量・地籍図作成 ○松川第1地区 A＝0.09km ² 調査・測量					

6款 農林水産業費 2項 林 業 費 (単位 千円)

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	その他の 特定収入	一般財源
林業振興費 (農林整備課)	1 森林病虫害等防除事業費	3,322	県	473	－	2,849
	(説明) 森林病虫害被害予防として、危険木除去等を実施し、森林資源の保護を図った。 ○枯損木除去 8.1㎡					
	2 里山林保全対策事業費	4,744	県	3,559	－	1,185
	(説明) 森林病虫害等の拡大防止を図るため、被害木の調査、伐倒駆除を実施した。 ○被害調査(危険木・カシノナガキクイムシ等)					
	3 森林環境交付金事業費	8,157	県	8,157	－	－
(説明) 県の森林環境税を財源とする森林環境交付金を活用した事業を行い、森林環境の保全や森林づくりの意識醸成を図った。 ○森林環境学習の推進事業(福島第一小学校 ほか36校) 7,761 ○森林GISシステム使用料 396						

6款 農林水産業費 2項 林 業 費 (単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
	4 森林環境整備事業費	40,180	—	基金繰入金 40,180	—	
	(説 明) 森林環境譲与税を活用し、市内の小学生を対象とした普及啓発事業を実施するとともに、東京都荒川区と市内森林の整備を目的とした交流事業を実施した。 また、森林の所有者調査や境界明確化の基礎資料とするため森林境界保全図を作成し、境界明確化及び森林整備を行った。 ○森林・林業学習事業（杉妻小学校 ほか5校）2,378 ○「あらかわの森」植樹・交流イベント（東京都荒川区連携事業）794 ○森林境界保全図作成業務等5,471 ○森林境界明確化（信夫地区）6,115 ○森林整備（吾妻地区）25,422					
	5 ふくしま森林再生事業費 (復興事業費)	120,622	県	88,363	雑入 1	32,258
	(説 明) 放射性物質の影響により森林所有者による森林整備が停滞している民有林を対象に、森林整備を行った。 ○森林整備等120,308 ・山口五本松第2地区 ほか5地区 ○事 務 費314					
	6 林業専用道整備事業費 (復興事業費)	18,000	—	—	18,000	
	(説 明) 東日本大震災、原子力災害からの復興再生と持続可能な林業経営に向け、林業のための道路整備を実施した。県営事業（県発注・施工）により実施し、事業費の一部を負担した。 ○負 担 金 ・上古屋線（土工事、緑化工事）L=305m					

7款 商 工 費 1項 商 工 費 (単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 特 定 収 入
商 工 業 振 興 費 (産業雇用政策課)	1 中小企業振興預託金	702,000	—	貸付金元利収入 702,000	—
	(説 明) 中小企業者の金融の円滑化を図るため、市融資制度及び国・県制度の利用促進に努めた。 また、震災特別枠を設け、中小企業の復興を支援した。 ○利 用 実 績 ・ 中小企業一般融資 120件（一般枠104件、震災特別枠16件）				
	2 中小企業信用保証料補助金	14,743	—	—	14,743
	(説 明) 中小企業者の金融の円滑化及び負担の軽減を図るため、市中小企業一般融資及び県起業家支援保証制度の利用者に対し、信用保証料の2分の1（県起業家支援保証制度は5分の4）を補助（上限50万円）した。 ○補 助 件 数 136件（市中小企業一般融資118件、県起業家支援保証制度18件）				
	3 中小企業ゼロカーボン資金 融資預託金	408,000	—	貸付金元利収入 408,000	—
	(説 明) 中小企業者の金融の円滑化を図るとともに、中小企業のゼロカーボンに向けた設備開発や導入を支援した。 ○利 用 実 績 ・ 中小企業ゼロカーボン資金融資 1件（開発資金枠1件）				
4 中小企業ゼロカーボン資金 融資信用保証料補助金	45	—	—	45	
(説 明) 中小企業者の金融の円滑化及び負担の軽減を図るため、市中小企業ゼロカーボン資金融資の利用者に対し、信用保証料の3分の2を補助（上限50万円）した。 ○補 助 件 数 1件					

7款 商 工 費 1項 商 工 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(産業雇用政策課) (企業振興課)	5 工業振興対策費	3,461	－	－	3,461
(企業振興課)	(説 明) 8年度を始期とする新「産業未来ビジョンふくしま」策定に向け、本市の産業等に関する現況調査を実施した。 また、地域の産業振興を図るため、技能者の地位や技能水準の向上、優れた技能・技術の伝承等を目的として技能功労者の表彰や名工展を開催するとともに、中小企業の後継者を対象とした育成塾を実施した。 ○ 新「産業未来ビジョンふくしま」現況調査 1,854 ○技能功労者表彰・名工展事業 789 ○後継者育成事業 755 ○そ の 他 63				
	6 企業立地促進費	96,370	－	－	96,370
	(説 明) 産業の振興と雇用の拡大を図るため、企業訪問や展示会への出展等により、立地優遇制度等の情報を提供し、積極的な企業誘致活動を行った。 また、企業立地促進条例に基づく奨励措置として、助成金を交付した。 ○展示会出展実績 1,033 ・福島県企業立地セミナー（東京都）ほか5件 ○助成金交付実績 87,756 ・用地取得助成金 1社 ・操業奨励助成金 5社 ・雇用奨励助成金 8社 ・転入支援助成金 2社 ○その他 7,581				
	7 「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援事業費	3,750	－	－	3,750
	(説 明) 本市でオフィスを開設し、本社機能を移転した企業に対して改修費を支援した。 ○改修費支援金 1件				

7款 商 工 費 1項 商 工 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(にぎわい商業課)	8 街なかにぎわい創出事業費	32,035	－	－	32,035
	(説 明) エスタビル地下1階に「街なか交流館」を設置し、再開発事業期間における福島駅周辺を中心とした街なかの賑わいと交流人口の拡大を図るとともに、市民が交流・活動する空間を創出した。 また、まちづくりに関わり活動する団体間の連携を図るため、街なか賑わい創出プロジェクトの活動基盤として情報システムの運用及び一部改修（イベント告知機能向上）等を行った。 ○街なか交流館等委託事業関連 30,000 ・来場者数 38,102人 ○街なか賑わい創出プロジェクト関連等 2,035				
	9 商店街等活性化イベント支援事業費	35,571	－	－	35,571
	(説 明) 商店街等が実施するイベント等に対し補助を行い、地域経済の活性化及び賑わい創出を図った。 ○補 助 件 数 83件				
	10 街なかテーマパーク事業費	9,999	県 7,499	－	2,500
	(説 明) 街なか全体でこどもたちをおもてなしするため、福島駅前通りやまちなか広場等において、ミニ遊園地やステージショーなどを中心とした「街なかテーマパーク」を実施した。 ○街なかテーマパーク2024 ・開 催 月 日 5月5日 ・実 施 内 容 ロードトレイン、エア遊具、ステージイベント、フードコンテンツ ほか ・会 場 福島駅前通り、まちなか広場 ほか ・来 場 者 数 約48,000人				

7款 商 工 費 1項 商 工 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
	11 新規出店支援事業費	29,653	—	—	29,653
	(説 明) 中心市街地及び地域拠点の活性化と賑わいの創出を図るため、空き店舗、新規店舗及び空き家へ新規出店する事業者に対し、内外装工事などの経費の一部を支援した。 また、街なかの対象エリアを拡大するとともに、飯坂地区・金谷川地区の一部を対象エリアに加えて支援した。 ○補 助 件 数 32件				
	12 街なか出店入居者家賃補助事業費	80,554	県	5,958	— 74,596
	(説 明) 商店会等が実施する街なかの空き店舗を活用した魅力向上を図る事業に対する支援を行い、空き店舗解消と商店街の賑わい創出を図った。 ○活力ある商店街支援事業 ・補助件数（継続分を含む） 101件（うち県補助該当12件、市独自89件） うち新規分 30件（うち県補助該当 2件、市独自28件）				
	13 「納豆のまち福島」ブランド化推進事業費	2,218	—	—	2,218
	(説 明) 一世帯あたりの納豆の年間消費額を再び日本一とするため、以下の取組を展開し、市内の飲食業界や観光の活性化、納豆の消費拡大、さらには「納豆のまち福島」のブランド化を図った。 ○毎月10日は納豆の日キャンペーン（クイズやアンケートにより、抽選で福島市の特産品を贈呈） ○納豆グルメマップの作成 ○納豆のまち福島専用サイト「ねばりんく」の開設				

7款 商 工 費 1項 商 工 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
(産業雇用政策課)	14 ふくしま田園中枢都市圏ビジョン事業費	1,256	—	—	1,256
	(説 明) 圏域内企業の新規取引の拡大を図るため、ふくしま産業交流フェアを開催し、企業や支援機関によるブース展示やプレゼンテーションの実施により、ビジネス交流の場を創出した。 ○ふくしま産業交流フェア ・参加団体数 134企業・団体				
	15 新産業創造推進費	8,553	—	—	8,553
	(説 明) 市内企業の付加価値の高いものづくりにより地域産業の活性化を図るため、産業支援コーディネーターを配置し、企業の課題解決や研究機関等との連携を支援したほか、産学連携により研究開発を行う先進企業の視察等を行った。 ○産業支援コーディネーターによる企業支援 7,717 ○先進企業視察 93 ・視察先 米沢市内企業2社、山形大学研究施設 ○その他 743				
	16 新製品・新技術開発支援事業費	16,825	—	基金繰入金 6,765	10,060
	(説 明) 付加価値の高いものづくりにより新たな産業や事業の創出を図るため、新製品・新技術の開発を行う市内企業に対し補助金を交付した。 ○新製品・新技術開発支援事業 ・補助件数 特定集積産業枠8件、一般枠2件				

7款 商 工 費 1項 商 工 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収	一 般 財 源
(にぎわい商業課)	17 ものづくり企業応援事業費	1,976	県 988	－	988
	(説 明) 市内で製造されている製品を購入・活用し、企業の販路拡大や製品改良を支援することで地域産業の振興を図った。 ○ふくしま新製品・新システム応援事業 ・採択件数 1件				
	18 産業交流プラザ（シェアオフィス等）管理運営費	18,428	－	－	18,428
	(説 明) シェアオフィス・コワーキングスペース・ミーティングルームを備えたクリエイティブビジネスサロン（コラッセふくしま2階）において、多様な働き方に対応したビジネス環境を提供し、創業者や女性起業家を支援した。 併せて、同1階ふくしま情報ステーション、12階展望ラウンジ及び駐車場の管理運営を行った。 ○クリエイティブビジネスサロン来場者数 11,395人 （うち、コワーキングスペース利用者数 8,109人）				
	19 福島市デジタルくーぼん事業費（繰越明許費）	470,314	－	－	470,314
	(説 明) 長引く物価高騰に苦しむ市民生活の支援に加え、市内における消費拡大を図り、地域経済の回復につなげるため、福島市選択型エールクーポンを発行した。 ○福島市選択型エールクーポン事業 ・利用期間 3月8日～5月31日 ・加盟店 約1,500店 ・事務費 63,278 ・負担金（プレミアム分） 407,035				

7款 商 工 費 1項 商 工 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 特 定 収	一 般 財 源
観光費 (観光交流推進室)	1 温泉地活性化推進事業費	14,969	－	基金繰入金 14,969	－
	(説 明) 温泉地施設整備基金（昭和51年3月設置）を活用して、各温泉地の観光協会等に対し補助金を交付し、温泉地の活性化を図った。 ○飯坂 誘客イベント事業（花ももの里、桃祭等）、パンフレット作成ほか 5,000 ○土湯 こけしまつり等イベント宣伝事業、景観整備事業ほか 5,000 ○高湯 夜の魅力アップ事業（高湯あかり）、パンフレット作成ほか 4,969				
	2 エールレガシー事業費	4,360	国 2,046	－	2,314
	(説 明) 連続テレビ小説「エール」放映のレガシーや「エール」の主人公のモデルとなった本市栄誉市民の作曲家古関裕而氏にまつわる観光資源を活かした取組を行うことで、本市への誘客促進、交流人口の拡大を図った。 ○ロケツーリズム推進会議事業補助金 ・観光客受入整備事業（ロケ地マップ更新・印刷） ・誘客促進事業（映像制作者ロケハンツアー）				
	3 ふくしま花回廊推進事業費	25,132	－	－	25,132
	(説 明) 花見山をはじめとした花回廊スポットや飲食店を巡るデジタルラリーの実施により、花回廊スポットの誘客や周遊促進を図った。 また、ふくしま花回廊推進事業補助金により、各花回廊スポットの受け入れ環境整備を図り、魅力向上に取り組んだ。 ○ふくしま花回廊デジタルラリー事業 23,870 ・応募件数 20,343件 ・スタンプ獲得箇所 434カ所 ○ふくしま花回廊ポスター及びパンフレット印刷 799 ○ふくしま花回廊推進事業補助金 333 ・補助件数 8件 ○その他 130				

7款 商 工 費		1項 商 工 費		(単位 千円)		
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源	
	4 スイーツ・プレミアム事業費	3,993	国	1,996	－	1,997
(説 明) 本市農産物を活用し優れたスイーツとして認証された「ふくしまスイーツ・プレミアム」のプロモーションを展開することで本市のイメージ向上、農業の振興、地域経済の活性化を図った。 ○首都圏等販売会 J R市ヶ谷駅、J R函館駅ほか ○認証品売上調査 認証を受けた19事業者のうち、7事業者が前年より売上増と回答 ○We b プロモーション ・動画制作・配信 89,752回再生 ・インスタグラム フォロワー1,654人						
	5 「ふくしまステイ。」プロモーション事業費	9,461	－	雑入	6,307	3,154
(説 明) 本市の自然、アウトドア、アクティビティ、グルメ、歴史、文化などの魅力を楽しむ滞在スタイルを「ちょっどいい旅、ふくしまステイ。」としてブランド化し、首都圏若年層をターゲットに誘客及び周遊促進を図った。 ○宿泊プラン造成・販売 ・プラン数 106プラン (25事業者) ・人泊数 15,499人泊 ・取扱額 190,023千円 ○We b プロモーション ・動画配信 386,311回再生 ○オフライン広告 ・東京駅丸の内地下連絡通路ほか動画広告 11月4日～12月1日 (4週間)						

7款 商 工 費		1項 商 工 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
	6 あづま山麓ツーリズム推進事業費	10,499	国	6,916	－ 3,583
(説 明) 磐梯朝日国立公園に位置する「吾妻連峰」の大自然やあづま山麓エリアに存在する固有の資源「吾妻五葉松」と「多様な酒造り」の観光資源に焦点をあて、魅力向上と誘客促進を図るため、旅行商品造成及び販売、包括的エリアブランディングプロモーションの実施、登山道の整備等を実施した。 ○吾妻連峰登山道刈り払い 500 ○あづま山麓ツーリズム推進事業 9,999 ・付加価値商品造成・販売 「吾妻五葉松を巡る山旅」、「吾妻蔵元ツーリズム」の造成・販売 実績：日帰りツアー 3人、1泊2日ツアー 12人（吾妻五葉松を巡る山旅） ・吾妻蔵元ツーリズムペアリングメニュー開発 ・プロモーションイベント「酒と盆栽in東京」の実施 来場者数：2日間延べ280人 ・道の駅ふくしまにてパネル展の実施 ・専用Instagramアカウントの制作及び情報発信 新規フォロワー数240人					
	7 インバウンド誘客プロモーション事業費	11,227	国	5,374	－ 5,853
(説 明) インバウンド需要が高まっていることを受け、台湾に向けて福島を積極的に発信するため、個人旅行向けのデジタルプロモーションと団体旅行向けのリアルプロモーションを両面から展開し、本市の認知度向上と誘客促進を図った。 また、南東北三市連携によりタイ現地でリアルプロモーションを実施した。 ○デジタルプロモーション（台湾） 6,597 ・Web記事 夏記事（動画） 353,956回再生 夏記事 10,011pv 冬記事 10,662pv ・動画制作・配信 209,365回再生 ○リアルプロモーション（台湾） 3,757 ・旅行会社招請 6社 ・モデルコース造成 3本 ・セールスコール 訪 問 先 現地旅行会社6社 訪 問 日 12月5日～6日 ○パンフレット増刷（台湾） 396 ○南東北三市連携リアルプロモーション（タイ） 477 ・行政機関等訪問 タイ政府観光庁、バンコク都庁ほか ・観光セミナー 現地旅行会社39社 訪 問 日 10月30日～31日					

7款 商 工 費 1項 商 工 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(コバンション推進課)	8 コンベンション推進事業費	17,426	—	基金繰入金 5,249	12,177
(観光交流推進室)	(説 明) (一社)福島市観光コンベンション協会と連携し、M I C E 商談会への出展や大学、研究機関などを訪問し、誘致活動を展開するとともに、市内で開催された学会等に対し、補助金の交付をはじめとする支援を行った。 また、6月に策定した東口再開発の見直し方針に基づき、福島駅前交流・集客拠点施設の設計見直しを行うなど、事業の進捗を図った。 ○コンベンション誘致事業費 896 ○コンベンション支援事業費 2,609 ・コンベンション補助金 10件 ・エクスカーション補助金 6件 ○観光コンベンション協会M I C E 補助金 8,672 ○福島駅前交流・集客拠点施設整備事業費 5,249				
	9 春の花見山おもてなし事業費 (復興事業費)	60,189	—	—	60,189
	(説 明) 春の花見山観光において、臨時駐車場の整備や交通誘導員の配置、仮設トイレ・物産ひろばの設置等により観光客の受け入れ体制を整備し、観光誘客の推進及び地域住民の生活環境の保全を図った。 ○来 訪 者 数 約75,000人				
観 光 施 設 費 (観光交流推進室)	1 地域振興施設道の駅費	39,667	—	雑入 8,783	30,884
	(説 明) 福島市地域振興施設道の駅(道の駅ふくしま)における、地域産品や飲食物等の販売、地域情報の発信、屋内こども遊び場の提供等により、地域産業の振興及び市内回遊の促進を図った。 ○来 場 者 数 約168万人 ○売 上 額 約13億9千万円				

7款 商 工 費 1項 商 工 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
	2 観光施設諸費	11,304	県 1,228	雑入 54	10,022
	(説 明) 遊歩道の草刈りや修繕等を行い、市民や観光客が安全に利用できる環境整備に努めた。 ○遊歩道等点検及び除草整備業務委託等 2,985 ○自然環境整備交付金事業 2,456 ○観光施設整備費等 5,863				
	消費 者 保 護 対 策 費 (生 活 課)	516	—	—	516
	(説 明) 複雑多様化する消費生活トラブルについて、啓発事業を行うとともに、正しい知識や情報を提供し、意識の高揚を図った。 ○消費者講座(くらしの講座) 5回 160人 ○消費生活学習会 26回 821人 ○ラジオスポット放送 105回				
	2 消費者被害未然防止対策事業費	1,145	県 572	—	573
	(説 明) なりすまし詐欺をはじめとする高齢者等の消費者被害の未然防止・拡大防止を図った。 ○悪質電話撃退装置等購入費補助 126台 ○成年年齢引き下げに伴う若年者の消費者被害未然防止の啓発 ○消費者の安全を守る地域協議会との高齢者等への啓発強化等				

8款 土 木 費		1項 土 木 管 理 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
建 築 指 導 費 (住 宅 政 策 課)	1 住まいの耐震化促進事業費	7,964	国 県	3,982 1,991	— 1,991
	(説 明) 「福島市耐震改修促進計画」に基づき、昭和56年5月31日以前に建てられた旧耐震基準の木造住宅の耐震化を促進するため、耐震診断を実施した。また、耐震改修工事を行った者に対し補助金を交付した。 ○耐震診断 19件 ○耐震改修 5件				
(開発建築指導課)	2 ブロック塀等撤去助成事業費	1,373	国 県	686 339	— 348
	(説 明) 「福島市耐震改修促進計画」に基づき、地震により倒壊のおそれのあるブロック塀等の撤去を行った者に対し補助金を交付した。 ○補 助 件 数 18件				

8款 土 木 費		2項 道路橋りょう費		(単位 千円)			
目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳				
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源		
道路橋りょう総務費 (路 政 課)	1 ほこみち社会実験事業費	4,994		－	－	4,994	
	(説 明) 道路空間の新たな利活用について検討するため、公募による「企画運営チーム」が企画した社会実験として、吾妻通りを憩いの場や訪れる人の活動の場として提供し、交通への影響や利用者の満足度等の調査・検証を行った。						
交 通 安 全 施 設 整 備 費 (道路保全課)	1 防災・安全交付金事業費	13,132	国	7,222	債	5,300	610
	(説 明) 生活道路の要対策箇所において、路側帯のカラー舗装やハンプの設置などにより、安全対策を講じた。 ○生活道路安全対策費 ・飯坂町平野地区（北沢又・鎌田線） ほか11路線 路側帯カラー舗装 A=112.0㎡ ハンプ N=2カ所 ほか						
(道路保全課) (道路整備課) 【道路保全課】 【道路建設課】	2 交通安全施設整備国庫補助事業費	42,822	国	23,551	債	18,200	1,071
	(説 明) 通学路の要対策箇所等において、路側帯のカラー舗装や道路側溝の蓋掛、歩道の拡幅などにより、安全対策を講じた。 ○通学路等安全対策事業費 13,132 ・森合小学校通学路（小松原・畑田線） ほか3校4路線 路側帯カラー舗装 A=206.4㎡ 道路側溝蓋掛 L=56.0m ほか ○八島町地区周辺道路整備事業費 4,900 ・用地買収、物件補償 ○八島町地区周辺道路整備事業費（総合経済対策） 247 ・用地買収 ○浜田町春日町線（五老内町工区）改良工事費（緑越明許費） 1,543 ・改良工 L=73.4m ○浜田町春日町線（五老内町工区）改良工事費（経済対策）（緑越明許費） 23,000 ・改良工 L=73.4m						

8款 土 木 費		2項 道路橋りょう費		(単位 千円)																																				
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳																																					
			国 支 出 金	そ の 他 入 収 入	一 般 財 源																																			
(道 路 保 全 課)	3 交通安全施設整備市単事業費	71,491	—	債 38,500	32,991																																			
	(説 明) 歩道の段差解消や交通安全施設の設置・修繕を行い、安全かつ円滑な通行を確保した。 ○市単事業費 <table><tr><td>・人にやさしい道づくり</td><td>30,944</td></tr><tr><td>大蔵・南慶二線 ほか1路線 道路舗装修繕等工事、測量設計 L=224.8m</td><td></td></tr><tr><td>・道路区画線設置</td><td>671</td></tr><tr><td>横堀・石田線 ほか</td><td></td></tr><tr><td>・防護柵設置 5カ所</td><td>3,243</td></tr><tr><td>野地・東吾妻線 ほか</td><td></td></tr><tr><td>・道路反射鏡設置 2基</td><td>361</td></tr><tr><td>畑中・堂ノ前線 ほか</td><td></td></tr><tr><td>・標識設置 4カ所</td><td>1,847</td></tr><tr><td>鳥川・大笹生線 ほか</td><td></td></tr><tr><td>・視線誘導標設置等 8件</td><td>3,888</td></tr><tr><td>久保・東田線 ほか</td><td></td></tr><tr><td>・車止め修繕等 8件</td><td>2,811</td></tr><tr><td>原・狼ヶ窪線 ほか</td><td></td></tr><tr><td>・道路区画線修繕 L=9,087.7m</td><td>5,498</td></tr><tr><td>小田・荒井線 ほか</td><td></td></tr><tr><td>・道路照明灯、反射鏡、防護柵等修繕 47件</td><td>21,488</td></tr><tr><td>・事 務 費</td><td>740</td></tr></table>					・人にやさしい道づくり	30,944	大蔵・南慶二線 ほか1路線 道路舗装修繕等工事、測量設計 L=224.8m		・道路区画線設置	671	横堀・石田線 ほか		・防護柵設置 5カ所	3,243	野地・東吾妻線 ほか		・道路反射鏡設置 2基	361	畑中・堂ノ前線 ほか		・標識設置 4カ所	1,847	鳥川・大笹生線 ほか		・視線誘導標設置等 8件	3,888	久保・東田線 ほか		・車止め修繕等 8件	2,811	原・狼ヶ窪線 ほか		・道路区画線修繕 L=9,087.7m	5,498	小田・荒井線 ほか		・道路照明灯、反射鏡、防護柵等修繕 47件	21,488	・事 務 費
・人にやさしい道づくり	30,944																																							
大蔵・南慶二線 ほか1路線 道路舗装修繕等工事、測量設計 L=224.8m																																								
・道路区画線設置	671																																							
横堀・石田線 ほか																																								
・防護柵設置 5カ所	3,243																																							
野地・東吾妻線 ほか																																								
・道路反射鏡設置 2基	361																																							
畑中・堂ノ前線 ほか																																								
・標識設置 4カ所	1,847																																							
鳥川・大笹生線 ほか																																								
・視線誘導標設置等 8件	3,888																																							
久保・東田線 ほか																																								
・車止め修繕等 8件	2,811																																							
原・狼ヶ窪線 ほか																																								
・道路区画線修繕 L=9,087.7m	5,498																																							
小田・荒井線 ほか																																								
・道路照明灯、反射鏡、防護柵等修繕 47件	21,488																																							
・事 務 費	740																																							
道 路 維 持 費 (道 路 保 全 課)	1 防災・安全交付金事業費	74,974	国 40,915	債 23,300	10,759																																			
	(説 明) 経年劣化による損傷箇所が断続的に続く市道路線の舗装修繕を、年次計画により効率的に実施し、安全かつ円滑な通行を確保した。 また、予防保全的修繕によるコスト縮減のため、道路施設の点検を実施した。 ○舗装修繕事業費 24,956 <table><tr><td>・湯野・平野線 ほか2路線 A=2,220.8㎡</td><td></td></tr></table> ○道路ストック総点検事業費 10,074 <table><tr><td>・道路附属施設点検、路面下空洞調査</td><td></td></tr></table> ○除雪関連事業費 20,790 <table><tr><td>・除雪ドーザ購入 1台</td><td></td></tr></table> ○舗装修繕事業費(繰越明許費) 8,198 <table><tr><td>・金沢・立子山線 A=922.5㎡</td><td></td></tr></table> ○舗装修繕事業費(経済対策)(繰越明許費) 10,956 <table><tr><td>・下染屋・大沢線 A=1,355.2㎡</td><td></td></tr></table>					・湯野・平野線 ほか2路線 A=2,220.8㎡		・道路附属施設点検、路面下空洞調査		・除雪ドーザ購入 1台		・金沢・立子山線 A=922.5㎡		・下染屋・大沢線 A=1,355.2㎡																										
・湯野・平野線 ほか2路線 A=2,220.8㎡																																								
・道路附属施設点検、路面下空洞調査																																								
・除雪ドーザ購入 1台																																								
・金沢・立子山線 A=922.5㎡																																								
・下染屋・大沢線 A=1,355.2㎡																																								

8款 土 木 費		2項 道路橋りょう費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 収 入	一 般 財 源
	2 道路維持費	1,398,669	国 8,888	雑入 12 債 468,800	920,969
	(説 明) 道路の安全な通行を確保するため、道路施設の維持修繕等を行った。 ○バリアフリー推進事業費 9,596 ・点字シート設置 L=267.6m ○道路維持管理費 87,218 ・道路照明灯等電気料 ほか ○舗装道維持修繕費 423,081 ・修繕工 A=32,729.8㎡、測量設計、合材等購入 ○土留側溝維持修繕費 402,346 ・修繕工 L=2,287m、側溝土砂撤去 L=30,912.5m、測量設計、側溝蓋等購入 ○土留側溝冠水対策費 9,848 ・道路側溝改修 ○砂利道維持修繕費 8,141 ・砂利道不陸整正、碎石等購入 ○道路緑化費 77,057 ・街路樹維持管理業務委託 ほか ○地域安全緊急対策事業費 99,933 ・集中的修繕対策 ○除 雪 費 138,547 ・除雪業務委託 ほか ○除雪力強化対策費 4,601 ・凍結防止剤散布車賃貸借、貸出し用除雪用具購入 ○凍結防止剤散布装置設置事業費 2,826 ・設置6台 賃借料 ○地域除雪活動支援事業費 938 ・小型除雪機械購入補助 3団体 3台 ○除雪車運行管理システム事業費 9,647 ・除雪車運行管理システム保守 ○除雪基本待機保証費 115 ・除雪委託業者人件費 ○街灯維持費 111,478 ・修繕料、電気料 ほか ○道路附属物施設台帳システム更新費 9,488 ・街路灯・照明灯・反射鏡台帳システム更新 ○事 務 費 等 3,809 ・会計年度任用職員費 ほか				

8款 土 木 費		2項 道路橋りょう費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
	3 街路灯・道路照明灯ＬＥＤ化推進事業費 (復興事業費)	153,090	—	債 137,700	15,390
	(説 明) 脱炭素社会の実現を目指した省資源・省エネルギーの推進を図るため、街路灯及び道路照明灯をＬＥＤ灯に交換した。 ○街路灯ＬＥＤ化推進事業費 ・街路灯修繕 1,570灯 68,493 ○照明灯ＬＥＤ化推進事業費 ・道路照明灯修繕 446灯 84,597				
道路新設改良費 (道路整備課) 【道路建設課】	1 社会資本整備総合交付金 事業費	148,318	国 65,925	債 49,500	32,893
	(説 明) 安全な道路環境の創出に向け、幹線道路の整備を行った。 ○杉妻町御山線（新浜町工区）改良工事費 92,310 ・物件補償 ○鳥川大笹生線改良工事費 29,764 ・物件調査、用地買収、物件補償、改良工 L=73.9m ○鳥川大笹生線（佐倉下工区）改良工事費 7,972 ・物件補償 ○椿沢線改良工事費 1,682 ・用地測量 ○南町佐倉下線改良工事費 4,866 ・測量設計、用地測量、物件調査 ○大蔵南慶二線（岡部工区）改良工事費 1,835 ・測量設計、用地買収 ○北谷地長畑線（北谷地工区）改良工事費 608 ・土質調査、用地買収 ○鍛冶合内線改良工事費 497 ・測量設計 ○北沢又丸子線（3工区）改良工事費（繰越明許費） 8,180 ・物件補償 ○鳥川大笹生線改良工事費（経済対策）（繰越明許費） 116 ・改良工 L=73.9m ○鳥川大笹生線（佐倉下工区）改良工事費（経済対策）（繰越明許費） 232 ・物件補償 ○椿沢線改良工事費（経済対策）（繰越明許費） 256 ・用地測量				

8款 土 木 費		2項 道路橋りょう費		(単位 千円)		
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
(路 政 課)	2 道路整備市単事業費	265,290	県	7,015	債 225,900	32,375
	(説 明) 通行の安全性と利便性の向上を図るため、生活道路の整備を行った。 ○道路改良事業費 ・絵馬平4号線 ほか 34路線 測量設計、用地買収、物件補償、改良工 L=1,569.0m ○地域安全緊急対策事業費 ・中町裏・上戸ノ内線 ほか 13路線 物件補償、埋蔵文化財調査、改良工 L=1,114.9m ○みなし道路整備事業費 ・みなし道路用地買収23件、登記12件					161,018

8款 土 木 費

2項 道路橋りょう費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
橋りょう維持費 (道路保全課)	1 橋りょう維持費	101,549	国 25,728	債 23,000	52,821
	(説 明) 「福島市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、市が管理する橋梁の計画的な点検及び維持修繕等を行い、橋梁の安全な通行を確保した。 ○長寿命化推進費 ・黒沢・尼ヶ堂線(新広瀬橋) ほか226橋 橋梁点検 58,012 ○維持修繕費 ・館・前畑線(折石橋) ほか38橋 橋梁補修工 25,092 ・鎌田・笹谷線(鎌田大橋) ほか2橋 計測調査、特別調査 980 ・矢剣町・鳥谷下町線(天神橋) ほか31橋 虫害対策、塗膜調査、橋梁点検 14,568 ・事 務 費 13 ○長寿命化推進費(繰越明許費) ・土船・庭塚線(日照沢橋) ほか20橋 橋梁点検 2,884				
	2 道路メンテナンス事業費	650,844	国 319,148	債 269,600	62,096
	(説 明) 老朽化や災害に対応するため、市が管理する橋梁の補強補修等を行い、橋梁の安全な通行を確保した。 ○長寿命化修繕事業費 ・台・南裏線(石那坂跨線橋) ほか8橋 橋梁補修工、補修設計 321,147 ○長寿命化修繕事業費(繰越明許費) ・南向台・黒岩線(蓬萊橋) ほか6橋 橋梁補修工、廃棄物処理、負担金 212,997 ○長寿命化修繕事業費(経済対策)(繰越明許費) ・古川線(古川橋) ほか5橋 橋梁補修工、補修設計 116,700				

8款 土 木 費

3項 河 川 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
河 川 総 務 費 (河 川 課)	1 阿武隈川サミット事業費	600	—	—	600
	(説 明) 水辺空間の利活用に対する理解促進を図るため、阿武隈川サミット発足30周年を記念したイベントとして、「阿武隈川サミット30周年記念講演会」を開催した。				
河 川 維 持 費 (河 川 課)	1 洪水ハザードマップ活用事業費	11,399	国 5,700	—	5,699
	(説 明) 浸水想定区域、土砂災害警戒区域、新たな土砂災害のおそれのある箇所、避難所の位置などを記載したハザードマップを作成した。 ○洪水ハザードマップ作成 5河川(摺上川、米川、須川、立田川、小国川) 5,803 ○土砂災害ハザードマップ作成 土砂災害のおそれのある箇所を新たに追加 5,597				
	2 河川水路維持修繕等費	43,234	国 549 県 14,646	—	28,039
	(説 明) 地域住民の安全を確保するため、河川及び排水路等の適切な維持管理を行った。 ○河川水路等維持修繕工事 18,121 ○土砂浚渫、除草、清掃等委託 25,113				
	3 河川災害対策事業費	6,494	—	—	6,494
	(説 明) 浸水被害常襲箇所下流の排水樋管に設置している簡易型河川監視カメラにより、河川の監視を行った。 ○祓川外簡易型監視カメラ 5台(リース)				

8款 土 木 費 3項 河 川 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
	4 河川災害緊急対策事業費	47,676	－	債 47,600	76
	(説 明) 洪水・浸水被害を未然に防ぐため、緊急浚渫推進事業債を活用し、土砂浚渫等を行った。 また、小規模水路の土砂浚渫や維持管理を行った。 ○河川土砂浚渫事業費 ・馬川 ほか7カ所 7,237 ○河川土砂浚渫事業費（繰越明許費） ・渋川 ほか24カ所 40,439				
河 川 改 良 費 (河 川 課)	1 河川整備市単事業費	5,707	－	雑入 17	5,690
	(説 明) 水害の未然防止のため、排水路の整備を行った。 ○源三郎内排水路 1カ所 L=28.2m				
	2 河川災害緊急対策事業費	486,720	－	債 486,600	120
	(説 明) 大雨による浸水被害を軽減するため、緊急自然災害防止対策事業債を活用し、市管理河川の改修を行った。 ○河川強靱化事業費 308,444 ・小舟入川 ほか15カ所 L=1,409.3m ○河川強靱化事業費（繰越明許費） 178,276 ・下新田川 ほか 4カ所 L=703m				

8款 土 木 費 4項 都 市 計 画 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
都 市 計 画 総 務 費 (都 市 計 画 課)	1 都市計画道路計画推進費	495	－	－	495
	(説 明) 長期未着手の都市計画道路において、見直し対象20路線のうち2路線の計画延長を変更した。 ○変更した路線・延長 ・渡利本内線 L=2.24km ・平野鎌田線 L=1.85km				
	2 3Dデジタル都市計画情報推進費	54,864	国 27,000	－	27,864
	(説明) DXを活用したまちづくりを目的に、3D都市モデル（P L A T E A U：プラトー）の整備を行った。 ○整備内訳 ・A=39.0km ² （L O D 1）				
交 通 対 策 費 (交 通 政 策 課)	1 鉄道・バス等公共交通施設整備促進費	87,570	－	雑入 75 債 81,900	5,595
	(説 明) 公共交通機関の利便性及び安全性の向上を図るため、阿武隈急行線の車両及び保安施設等の更新に対する国・宮城県・福島県・沿線市町との協調補助と、福島交通飯坂線の保安施設等の更新に対する国・県との協調補助を行った。 また、第4種踏切における安全確保を促進するため、閃光灯、注意看板、手動ゲートの設置補助を行った。 ○阿武隈急行緊急保全整備事業費等補助金 77,524 ○鉄道軌道輸送対策事業費補助金 2,320 ○鉄道利用促進事業費補助金 75 ○第4種踏切道対策事業費補助金 1,567 ○事 務 費 30 ○阿武隈急行緊急保全整備事業費等補助金（繰越明許費） 4,406 ○鉄道軌道輸送対策事業費補助金（繰越明許費） 1,648				

8款 土 木 費		4項 都 市 計 画 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
	2 バス路線運行維持対策費	257,103	県	1,575	－ 255,528
	(説 明) 市民の日常生活を支える移動手段を確保するため、生活路線バス等の運行に対して補助金を交付した。 ○生活路線バス等運行対策補助金及び委託バス等交通対策補助金 253,407 ○松川下川崎乗合タクシー運行業務委託 3,696				
	3 中心市街地活性化交通支援事業費	24,608		－	－ 24,608
	(説 明) 市街地の回遊性を高めることで中心市街地の活性化を推進するため、市内循環もりんバスの運行に対して補助金を交付した。				
	4 地域で支える交通支援事業費	679		－	－ 679
	(説 明) 公共交通不便地域等における移動困難者の日常生活の移動手段を確保するため、地域主体で計画し運行した事業に対して補助金を交付した。 ○補助件数 4件（立子山地区、庭坂地区、大波地区、蓬萊地区）				
	5 メロディーバス運行事業費	18,445		－	－ 18,445
	(説 明) 福島駅と古閑裕而記念館を結ぶ周遊ルートにより「移動音楽館」をコンセプトとした古閑裕而メロディーバス、ＥＶメロディーバスを運行した。				

8款 土 木 費		4項 都 市 計 画 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
	6 自転車利用促進事業費	145,178	—	雑入 9 債 66,000	79,169
	(説 明) 自転車の利用環境整備と利用促進を図るため、自転車駐車場の確保及び維持管理を行うとともに、放置禁止区域での指導及び長期放置自転車の撤去等を実施した。 また、旧市民ギャラリー解体工事及びポケットパーク整備工事を実施した。				
	7 シェアサイクル管理運営事業費	17,422	国 6,066	雑入 4,929	6,427
	(説 明) 中心市街地の回遊性向上や地域観光の活性化を図るため、ＩｏＴ（スマートフォン）を活用した自転車貸出サービスを実施した。 ○貸出ポート 19カ所（※3～4月は期間限定で、花見山へ臨時ポート設定 計 20カ所） ○自転車台数 70台 ○利 用 回 数 32,847回				
街 路 事 業 費 (道路整備課) 【道路建設課】	1 社会資本整備総合交付金事業費	382,163	国 202,858	債 164,800	14,505
	(説 明) 市街地における安全で円滑な交通を確保するため、幹線道路の整備を行った。 ○太平寺岡部線（御山町工区）改良工事費 42,527 ・測量設計、物件補償、改良工 L＝272.0m ○北沢又丸子線（北沢又工区）改良工事費 26,900 ・交通量調査、物件調査、用地買収、物件補償 ○曾根田町桜木町線（宮下町工区）改良工事費 81,302 ・台帳整備、物件補償、改良工 L＝33.3m ○杉妻町早稲町線改良工事費 64,260 ・測量設計、物件調査、用地買収、物件補償 ○太平寺岡部線（御山町工区）改良工事費（総合経済対策） 2,095 ・改良工 L＝272.0m ○太平寺岡部線（御山町工区）改良工事費（緑越明許費） 46,964 ・用地買収、改良工 L＝100.0m ○曾根田町桜木町線（宮下町工区）改良工事費（緑越明許費） 28,480 ・物件補償、改良工 L＝100.0m ○杉妻町早稲町線改良工事費（緑越明許費） 11,535 ・用地買収 ○太平寺岡部線（御山町工区）改良工事費（経済対策）（緑越明許費） 28,100 ・用地買収、改良工 L＝151.7m ○曾根田町桜木町線（宮下町工区）改良工事費（経済対策）（緑越明許費） 50,000 ・改良工 L＝100.0m				

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	その他の 特定収入	一般財源
公園費 (公園緑地課)	1 公園遊具安全安心整備事業費	4,747		—	—	4,747
	(説明) 地域の憩いの場所を創出するとともに、安全で安心して利用できる公園づくりを推進するため、老朽化により緊急整備を要する児童遊び場等の公園遊具の修繕等を行った。					
	○駒山公園			ブランコ修繕		543
	○下釜運動公園			ベンチ修繕		833
	○御山松川原児童遊び場			遊具撤去		275
	○タウン蓬萊町2号公園	ほか2公園		遊具撤去		921
	○北原公園	ほか1公園		遊具撤去		440
	○上河原児童遊び場	ほか8児童遊び場		遊具撤去		1,298
	○東桜瀬公園	ほか1児童遊び場		遊具撤去		341
	○南向台第1公園	ほか4公園		安全シール貼付		96
	2 公園トイレ整備事業費	10,643		—	債 9,500	1,143
	(説明) 公園施設の快適性の向上を図るため、トイレの洋式化を進めた。					
	○西児童公園	2基更新				1,298
	○春日町緑地	2基更新				963
	○方木田公園	1基更新				440
	○弁天山公園	2基更新				770
	○荒川桜つつみ河川公園	2基更新				1,243
	○野田中央公園ほか1公園	5基更新				4,631
	○森合緑地	1基更新				1,298
	3 社会資本整備総合交付金事業費	48,300	国 23,766	債 21,000		3,534
	(説明) 「福島市公園施設長寿命化計画」に基づく都市公園内の子育て環境の向上と安全安心な公園施設の充実を図るため、老朽化した公園施設を更新した。					
	また、地域の実情を十分に勘案するとともに、施設の管理者や住民等の協力を得つつ、官民共創での緑地の保全及び緑化の推進に関する施策や取組を総合的に展開することを目的として、緑の基本計画(改訂版)の策定に着手した。					
	○蓬萊中央公園	更新工事	園路			18,253
	○十六沼公園	更新工事	一般施設			18,150
	○松川工業第一公園	更新工事	遊具	2基		2,915
	○五十辺道前公園	更新工事	遊具	1基		682
	○清水ほたるの池公園	更新工事	遊具	1基		6,000
	○緑の基本計画策定業務委託					2,300

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	その他の 特定収入	一般財源
都市再開発事業 (市街地整備課)	1 福島駅東口地区市街地再開 発事業費	32,710	国 県	16,355 8,177	基金繰入金 8,178	—
	(説明) 社会資本整備総合交付金事業を活用し、民間事業者への支援を行い、福島駅東口地区市街地再開事業を推進するため、仮囲いの移設を実施した。					
	2 福島駅東口地区市街地再開 発事業資金貸付金	500,000		—	債 487,500	12,500
	(説明) 国の都市開発資金貸付制度を活用し、民間事業者へ無利子の資金貸付を行い、福島駅東口地区市街地再開事業を推進した。					

8款 土 木 費		5項 住 宅 費		(単位 千円)																
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳																	
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源															
住 宅 総 務 費 (都 市 計 画 課) 【 住 宅 政 策 課 】	1 空家等対策事業費	34,932	国 県	17,752 4,715	－ 12,465															
	(説 明) 「第2期福島市空家等対策計画」に基づき、空き家の発生を抑制するため、連携協定団体との合同相談会を開催した。 また、状態の悪い空き家の解消や流通及び利活用を促進するため、空き家バンクの運用に加え、特定空家等の除却を行った所有者及び空き家のリフォームや清掃を行った所有者に補助金を交付した。																			
	<table><tr><th>区分</th><th>対象者</th><th>補助額</th><th>補助件数</th></tr><tr><td>特定空家等除却</td><td>特定空家等の所有者</td><td>工事費の4/5 (最大150万円)</td><td>5件</td></tr><tr><td>リフォーム</td><td>空き家購入者 (移住者、新婚・子育て世帯)</td><td>工事費の1/2 (最大170万円)</td><td>11件</td></tr><tr><td>清掃</td><td>空き家バンク物件登録者</td><td>工事費の1/2 (最大10万円)</td><td>6件</td></tr></table>				区分	対象者	補助額	補助件数	特定空家等除却	特定空家等の所有者	工事費の4/5 (最大150万円)	5件	リフォーム	空き家購入者 (移住者、新婚・子育て世帯)	工事費の1/2 (最大170万円)	11件	清掃	空き家バンク物件登録者	工事費の1/2 (最大10万円)	6件
	区分	対象者	補助額	補助件数																
	特定空家等除却	特定空家等の所有者	工事費の4/5 (最大150万円)	5件																
リフォーム	空き家購入者 (移住者、新婚・子育て世帯)	工事費の1/2 (最大170万円)	11件																	
清掃	空き家バンク物件登録者	工事費の1/2 (最大10万円)	6件																	
市営住宅管理費 (住 宅 政 策 課)	1 市営団地移転支援事業費	266,296	国	9,010	－ 257,286															
(説 明) 耐震性が不足し、設備の老朽化も進み住宅としての機能が低下している市営住宅の用途廃止に向け、入居189世帯の移転を支援した。 ○中央団地1～6・8号棟 109世帯 ○蓬萊第二団地7～10号棟 60世帯 ○春日町特目団地（繰越明許費） 3世帯 ○蓬萊第三団地19号棟（繰越明許費） 17世帯																				

8款 土 木 費		5項 住 宅 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
	2 ストック総合改善事業費	290,694	国	169,823	債 120,800 71
	(説 明) 市営住宅ストックの長寿命化、安全性向上、居住性向上を図るため、改修工事等を行った。 ○蓬萊第一団地3・4号棟屋上防水改修工事 22,660 ○蓬萊第三団地17・18号棟給水方式変更工事 48,639 ○大下団地下水道接続工事 9,350 ○蓬萊第一団地バリアフリー対応手摺設置工事 2,983 ○蓬萊第四団地20・21号棟外壁等改修工事 111,260 ○曲松団地1・2・3号棟外壁改修工事 95,802				
住 宅 建 設 費 (住宅政策課)	1 ふくしま☆スタイル住宅整備事業費（繰越明許費）	299,890	国	135,000	債 164,890 -
	(説 明) 「地域に溶け込む、新しい公営住宅のスタイル」をコンセプトに、民間賃貸住宅経営のノウハウを活用してライフサイクルコストの抑制を図るとともに、高齢者や子育て世帯が既存の地域コミュニティの中で楽しく豊かに暮らせる低層小規模市営住宅を整備した。 ○Fスタイル春日町 ・所在地 春日町11-8 ・戸数 12戸（公営住宅6戸、地域優良賃貸住宅6戸）				

9款 消 防 費 1項 消 防 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
常 備 消 防 費 (消 防 本 部)	1 救急救命士養成研修費	5,358	県 960	－	4,398
	(説 明) 10隊の救急隊全てを救急救命士運用隊として安定稼働するため、救急救命士を養成した。 ○養 成 者 数 2人				
消 防 施 設 費 (消 防 本 部)	1 常備消防自動車等整備費	248,131	－	債 234,100	14,031
	(説 明) 消防署の消防車両を更新し、災害対応力の充実を図った。 ○はしご車 1台				
	2 高規格救急自動車整備費	38,535	－	債 29,400	9,135
	(説 明) 消防署の高規格救急自動車を更新し、救急業務の充実を図った。 ○高規格救急自動車 1台				
	3 消火栓設置事業費	22,587	－	債 20,300	2,287
	(説 明) 水道配水管の拡張及び布設替等に併せて消火栓を設置し、消防水利の確保を図った。 ○新 設 5基 9,431 ○設 置 替 14基 13,156				

9款 消 防 費						1項 消 防 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳						
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源				
	4 消防本部・福島消防署整備事業費	134,233	－	債 133,300		933			
	(説 明) 消防本部・福島消防署を移転整備するため、庁舎の実施設計に着手し、建設予定地の土地購入及び移転補償を行った。 ○消防本部・福島消防署整備事業（6～7年度継続事業）					55,440			
	年 度	事 業 費	左 の 財 源 内 訳						
			特 定 財 源			一 般 財 源			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他				
	6	55,440	－	54,700	－	740			
	7	182,560	－	180,500	－	2,060			
	計	238,000	－	235,200	－	2,800			
	○高機能消防指令センター実施設計					4,180			
	○土地購入					48,741			
	○建物移転補償					25,823			
	○その他					50			
	5 非常備消防自動車等整備費	53,046	－	債 36,300		16,746			
	(説 明) 消防団車両等を更新し、地域防災力の充実強化を図った。 ○消防ポンプ自動車（C D－I 型）1台					21,854			
	○小型動力ポンプ積載車1台					8,745			
	○小型動力ポンプ（B3級）1台					2,629			
	○消防ポンプ自動車（C D－I 型）（事故繰越）1台					19,819			
災 害 対 策 費 (危 機 管 理 室)	1 防災行政無線設備管理費	11,791	－	－		11,791			
	(説 明) 防災行政無線が更新時期を迎えたことから、I P無線機を導入し、未配備だった避難所にも新たに配備することで、通信手段の強化を図った。 ○導入台数 95台（災害対策本部17台、災害対策現地本部34台、避難所44台）								

9款 消 防 費		1項 消 防 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
	2 総合防災情報システム管理費	22,572	—	雑入 29	22,543
(説 明) 気象情報収集の強化、市民への情報発信の多重化、被害状況の一体的管理を目的に整備した「災害対策オペレーションシステム」に、新たにSNS情報収集システムを追加し、初動対応の迅速化・災害対策の強化を図った。					
	3 ペット同伴避難所開設運営費	221	—	—	221
(説 明) 飼い主とペットが同じスペースで過ごすことができる「ペット同伴避難所」の開設に必要な物品等を整備した。					
	4 防災意識醸成・危機対応力向上事業費	192	—	—	192
(説 明) 様々な世代が気軽に楽しみながら防災を学ぶ「ぼうさい体験パッケージ」を、「ふくしま防災推進ネットワーク」のメンバーと連携を図りながら、学校や企業、地域において実施した。 ○ぼうさい体験パッケージ ・小中学校12校、企業1社、地域3団体					
	5 ふくしま防災体験フェア事業費	811	—	—	811
(説 明) 災害協定締結企業と連携し、まちなかで災害を疑似体験できる「ふくしま防災体験フェア」を開催し、気軽に防災に触れる機会の創出と防災意識の醸成を図った。					

9款 消 防 費		1項 消 防 費				(単位 千円)
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 特 定 収 入	一 般 財 源
	6 地域防災力強化事業費	5,200	県	2,084	－	3,116
	(説 明) 自分たちの地域は自分たちで守るという共助の仕組みづくりに向け、市民自らが取り組む「地区防災マップ」及び「地区防災計画」の作成を支援した。 ○作成地区 ・ 地区防災マップ ・ 地区防災計画 岡部・北部地区、明治地区、上名倉地区、庄野地区、南向台・絵馬平地区 湯野地区、土船地区					

10款 教 育 費

1項 教 育 総 務 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
事 務 局 費 (教育研修課)	1 特別支援教育推進事業費	216,356	—	—	雑入 1,110	215,246
(学校教育課)	(説 明) 市立小・中学校及び特別支援学校に在籍する障がいのある児童生徒に対し、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導を行うため特別支援教育指導員を委嘱し、各学校の指導・助言等を実施した。 また、特に人的支援を要する市立小・中学校及び特別支援学校に特別支援教育協力員・支援員を配置し、特別支援教育を推進した。 ○協 力 員 数 47人 ○支 援 員 数 41人 ○配 置 校 46校					
	2 幼・保・小・中学校連接推進事業費	633	—	—	—	633
	(説 明) 幼稚園、保育所、認定こども園、小学校、中学校の学びのつながりを重視した学習を推進した。 中学校区における各校・園等及び保護者との共通理解による「家庭学習の手引き」等の自校化と実践を進めることにより、自らの学びをマネジメントする力を育成するため、幼・保・小・中学校の担当者が家庭学習の状況等について情報交換を行った。 また、発達段階に応じた家庭学習の内容や方法について検討を行った。 ○幼・保・小・中学校の教員・保育士の情報交換等の会議 81回 ○保育・授業参観等による教職員の保育・授業研究 105回 ○異校種1日研修 95回 ○異年齢の子ども同士の交流 391回 ○保護者や地域との交流 177回					
	3 学力向上サポート事業費	10,114	—	—	—	10,114
	(説 明) 中学校に学習支援員を配置し、授業において個に応じたきめ細かな指導を行うとともに、昼休み時間等を活用し、手厚い学習支援を行った。 また、学校訪問を行わない学校を指導主事が訪問し、授業参観及び指導助言を行うことにより、担当教員の授業力の向上及び生徒の学力の向上を図った。 ○学習支援員数 12人					

10款 教 育 費

1項 教 育 総 務 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(教育研修課)	4 ふくしま・ふれあい・夢ぱらん事業費	4,202	—	—	—	4,202
	(説 明) 各校において、学校と地域が一体となり、体験的・探究的な学習を展開し、そこに関わる「ひと・もの・こと」と触れ合いながら、自ら学び、考え、判断する活動を計画・実践した。 ○テーマ ・福島市の環境 ・福島市の伝統・文化 ・福島市の福祉・健康 ・福島市の国際理解 ・福島市の人々の暮らし ・福島市のものづくり ・福島市のキャリア教育 ・福島市の食育 ・福島市の安全教育 ○実施校 43校					
	5 中学生ドリームアップ事業費	6,779	—	—	—	6,779
	(説 明) 中学2年生対象の職場体験を最大5日間の日程で実施した。中学1年生で職場体験に向けての事前指導、中学3年生で実際の進路を考えるための講師招聘等を行い、3年間の系統的な取組を実施した。 ○実施校 19校					
(教育研修課)	6 ICT教育フューチャービジョン推進事業費	391,778	—	—	雑入 17	391,761
	(説 明) 福島型オンライン授業を実施するため、学校ICT環境の保守、運用並びに市立小・中学校及び特別支援学校へICT支援員を定期的に派遣した。					

10款 教 育 費		1項 教 育 総 務 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
(教 育 総 務 課)	7 福島型個性をのばす教育推進事業費	3,364	—	—	3,364
	(説 明) 可能性に挑戦する子どもを育成するため、本市ゆかりの著名人や地元企業と連携してスポーツや芸術などで特色ある教育を実施した。 ○小学生編 ・「地域連携教室 ふくしまっ子アカデミー 夢・希望・未来」 ロボットをテーマとして、地元企業等を講師に実施 4回、延べ87人参加 ○中学校部活動編 ・「プライム サッカー教室」 福島ユナイテッドＦＣをコーチに実施 2校、延べ64回 ・「プレミア 美術教室」 日本画家の齋正機氏を講師に実施 5回 ・「プラチナ ＩＣＴ教室」 デジタル人材バンク登録者を講師に実施 4回				
(教 育 研 修 課)	8 校務情報ネットワークシステム運用費	251,353	—	—	251,353
	(説 明) 「統合型校務支援システム」を安定運用し、児童生徒情報を一元管理するとともに、校務事務の効率化を図った。				
	9 学校保護者間連絡アプリ運用事業費	2,628	—	—	2,628
	(説 明) 保護者から学校への欠席連絡や学校から保護者への通知をデジタル化できるアプリケーションを市立小・中学校及び特別支援学校へ導入し、コミュニケーションの効率化を図った。				
	10 子どもハートサポート事業費	5,606	—	—	5,606
(説 明) 児童の心のケアをはじめ、不登校やいじめ、問題行動等の未然防止、早期発見及び即時対応を図るため、県のスクールカウンセラー等派遣事業におけるスクールカウンセラー未配置の小学校に相談員を配置し、個に応じた教育相談を実施した。 ○相 談 員 数 6人 ○配 置 校 21校					

10款 教 育 費		1項 教 育 総 務 費		(単位 千円)		
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入 一 般 財 源	
	11 総合教育センター費	167,411	国	2,496	雑入 9	164,906
	(説 明) 教職員研修、教育に関する専門的な調査研究を実施するとともに、教育相談、まなびの支援連携室「ふれあい教室」、特別支援教育及び就学指導等の推進を図った。 ○職 能 研 修 11講座 計16回 761人 ○専 門 研 修 22講座 計22回 1,137人 ○特 別 研 修 2研修 2講座 延べ 84人 ○その他の研修（自主研修セミナー 計8回 延べ40人、スクールアシスタント派遣7校 12回、土曜自主研修3団体 111人） ○調査・研究事業（読解力の向上に関する調査研究） ○教 育 相 談（来所相談延べ1,005回、電話相談延べ3,980回、訪問相談延べ466回） ○まなびの支援連携室「ふれあい教室」（対象児童生徒1組8人、2組44人、120日） ○早期教育相談 138人 ○定例教育相談 計60組 延べ240人 ○防災・放射線教育 1授業研究会 1回 50人					
	12 心のケア推進事業費 (復興事業費)	19,151	県	17,905	雑入 46	1,200
	(説 明) スクールカウンセラー3人を配置し、東日本大震災及び原子力災害を受け、様々なストレスを抱えている児童生徒、保護者及び教職員の心のケアを行った。					
	13 スクールソーシャルワーカー派遣事業費 (復興事業費)	8,739	国 県	1,068 5,020	－	2,651
	(説 明) スクールソーシャルワーカー3人を配置し、東日本大震災により被災した児童生徒及び保護者の心のケア並びに家庭支援を行った。					

10款 教 育 費						2項 小 学 校 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳						
			国 支 出 金	そ の 他 入 収	一 般 財 源				
学 校 管 理 費 (学 校 教 育 課)	1 学校図書館図書整備費	9,114		—	—	9,114			
	(説 明) 児童の読書意欲の向上に向け、図書充足率100%を維持しながら、各校の実情に応じた図書の更新を計画的に実施した。 ○購入 冊 数 4,593冊								
学 校 建 設 費 (教育施設管理課)	1 矢野目小学校特別教室棟 更新事業費	97,549		—	基金繰入金 23,690 債 70,700	3,159			
	(説 明) 老朽化した特別教室棟を更新するため、設計から建設までを一括して行う公募型プロポーザルを実施し、児童の学びの環境の充実を図った。 ○事業者選定審査委員会委員報償 ○地質調査業務委託 ○特別教室棟整備事業								
	24 3,135 94,390								
	2 学校施設リフレッシュ事業 費	295,252	国	33,666	基金繰入金 16,313 債 205,400	39,873			
	(説 明) 屋上防水及び外壁改修を実施し、コンクリートの躯体劣化防止を図った。 ○杉妻小学校南校舎外壁等改修工事 (5～6年度継続事業)								
156,118									
年 度	事 業 費	左 の 財 源 内 訳							
		特 定 財 源			一 般 財 源				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他					
5	51,080	—	38,300	—	12,780				
6	156,118	—	116,900	—	39,218				
計	207,198	—	155,200	—	51,998				
○瀬上小学校太陽光パネル設置構造検討業務委託						480			
○アスベスト含有分析調査業務委託 (平野小、瀬上小)						508			
○瀬上小学校屋上防水改修工事						18,100			
○平野小学校南校舎棟外壁等改修工事						120,046			

10款 教 育 費 2項 小 学 校 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 収	一 般 財 源
	3 施設改修事業費	191,418	—	債 71,300	120,118
	(説 明) 児童の学習環境改善のため施設改修等の事業を行った。 ○渡利小学校給水管改修工事設計業務委託 2,860 ○福島第二小学校エレベーター棟設置工事設計業務委託 2,860 ○上記以外の業務委託 5件 9,350 ○特別教室プレハブ賃貸借 3,556 ○飯野小学校屋内運動場床改修工事 21,780 ○蓬萊東小学校高置水槽改修工事 7,689 ○福島第三小学校ほか5校バリアフリートイレ改修工事 52,030 ○外壁落下緊急対策工事 41件 39,459 ○上記以外の施設改修工事 26件 51,835				
	4 瀬上小学校屋内運動場改築 事業費 (繰越明許費)	77,480	—	基金繰入金 19,380 債 58,100	—
	(説 明) 耐震補強が困難な屋内運動場の改築工事に伴い、図工室等の建築工事、外構工事等を行った。 ○図工室等建築工事 46,458 ○図工室電気設備工事 3,090 ○図工室機械設備工事 6,433 ○外構工事測量設計業務委託 771 ○外構工事 19,578 ○門扉設置工事 1,150				
	5 余目小学校屋内運動場改築 事業費 (繰越明許費)	37,086	—	基金繰入金 9,286 債 27,800	—
	(説 明) 耐震補強が困難な屋内運動場の改築工事に伴い、渡り廊下設置工事、外構工事等を行った。 ○渡り廊下設置工事 5,833 ○外構工事測量設計業務委託 990 ○外構工事 30,263				

10款 教 育 費 3項 中 学 校 費 (単位 千円)					
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
学 校 管 理 費 (学 校 教 育 課)	1 学校図書館図書整備費	5,352	—	—	5,352
	(説 明) 生徒の読書意欲の向上に向け、図書充足率100%を維持しながら、各校の実情に応じた図書の更新を計画的に実施した。 ○購入冊数 2,985冊				
学 校 建 設 費 (教育施設管理課)	1 学校施設リフレッシュ事業費	96,751	—	基金繰入金 24,160 債 72,300	291
	(説 明) 平野中学校において、屋上防水及び外壁改修を実施し、コンクリートの躯体劣化防止を図った。 ○アスベスト含有分析調査業務委託 290 ○屋上防水・外壁改修工事 96,460				
	2 施設改修事業費	80,828	—	債 28,800	52,028
	(説 明) 生徒の学習環境改善のため施設改修等の事業を行った。 ○野田中学校ほか11校照明LED化改修工事設計業務委託 31,020 ○地下オイルタンク廃止業務委託 3,127 ○北信中学校自動火災報知設備・非常放送設備改修工事 4,925 ○大鳥中学校浄化槽改修工事 7,480 ○外壁落下緊急対策工事 14件 24,153 ○上記以外の施設改修工事 16件 10,124				

10款 教 育 費						3項 中 学 校 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳						
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源				
	3 松陵中学校校舎等改築事業費	1,622,111	国 339,986	基金繰入金 55,634 債 404,800	821,691				
(説 明) 松川地区に本市初の義務教育学校を整備するため、松陵中学校の校舎等改築工事を行った。 ○松陵中学校（松川地区義務教育学校）改築工事（4～6年度継続事業）						1,295,522			
年 度	事 業 費	左 の 財 源 内 訳							
		特 定 財 源			一 般 財 源				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他					
4	—	—	—	—	—				
5	1,181,580	557,139	497,000	—	127,441				
6	1,295,522	257,673	224,600	—	813,249				
計	2,477,102	814,812	721,600	—	940,690				
○既存校舎改修工事（建築・電気設備・機械設備・付帯施設）						298,333			
○ポータブルステージほか購入						1,597			
○造作家具設置工事ほか1件						26,660			

10款 教 育 費		5項 幼 稚 園 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
幼 稚 園 費 (幼 保 支 援 課) 【幼稚園・保育課】	1 こども誰でも通園モデル事業費	60	—	—	60
	(説 明) 保育所等を利用していない未就園児を市立幼稚園で定期的に預かり、他のこども達と過ごすことにより、対象児童の発達を促すとともに保護者の負担軽減を図った。 ○利 用 件 数 延べ228件				
	2 特色ある幼児教育・保育推進事業費	7,227	—	—	7,227
	(説 明) こどもたちの豊かな創造性や感性を育むため、個性豊かで特色ある幼児教育・保育プロジェクトを実施する私立幼稚園、認可保育施設に対して補助金を交付した。 また、プロジェクトを市内外に広くPRするため、PR動画を作成しSNSで広告配信するとともに、市内の子育て世帯へ配布するための広報誌を作成した。 ○補助件数 11件 ○動画視聴回数 92,124回 ○広報誌作成 3,000部				
	3 私立幼稚園教育振興補助金	29,490	—	—	29,490
(幼 保 企 画 課) 【幼稚園・保育課】	(説 明) 私立幼稚園に対して補助金を交付し、円滑な事業運営を支援するとともに、保護者負担軽減や教職員の指導力向上のための研修会へ支援を行い、私学教育の振興を図った。 ○運営費補助金 29,300 ○教職員研修事業補助金 190				
	4 幼稚園利用者実費負担軽減事業費補助金	4,878	国 県	1,626 1,626	— 1,626
	(説 明) 「幼児教育・保育の無償化」の対象とならない、保護者が実費負担する給食費のうち、副食材料費について、私立幼稚園を利用する年収360万円未満相当世帯又は第3子以降の子どもの保護者に対し補助金を交付した。				

10款 教 育 費		6項 社 会 教 育 費		(単位 千円)	
目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出	県 金	そ の 他 入 一 般 財 源
社会教育総務費 (生涯学習課)	1 三河台学習センター整備事業費	45,856	—	債 43,000	2,856
	(説 明) 地域の社会教育・生涯学習を推進するため、5年4月に新館供用が始まった三河台学習センターの外構工事を行った。 ○外構工事(繰越明許費) 45,296 ○その他(繰越明許費含む) 560				
	2 旧飯野学習センター解体事業費	102,216	—	債 93,100	9,116
	(説 明) 5年5月に飯野支所との複合館に機能を移転した飯野学習センター旧館の解体工事を行った。				
社会教育振興費 (生涯学習課)	1 海外チャレンジ応援事業費	1,869	—	—	1,869
	(説 明) 豊かな国際感覚を生かして世界に羽ばたく人材の育成を図ることを目的として、自らの夢や目標に向かって海外での研修等にチャレンジする中学生及び高校生等の自主的な学びを支援するため、その費用の一部を助成した。 ○補助金交付人数 ・中学生 1人 ・高校生 7人				

10款 教 育 費

6項 社 会 教 育 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
	2 成人教育振興事業費	1,417	—	—	—	1,417
	(説 明) ○ＩＣＴ活用推進事業（ＩＣＴ活用セミナー） デジタルデバイド（情報格差）の解消に努めるとともに、高度情報化社会に対応できる成人を育成するため、ＩＣＴの知識と技能を身につける機会を提供した。 ・参加者数 622人 ・学習回数 78回 ○ふるさと学びカレッジ 現役卒業世代を対象に、地域の歴史・文化に触れ、ふるさとの魅力や良さの再発見へつなげるとともに、社会で身につけた知識・経験・技能等を地域で活用し、学んだ成果を活かす機会を提供した。 ・開設数 19講座 ・学習回数 85回 ・参加者数 1,189人 ○社会教育関係団体事業補助 成人教育の振興を図るため、社会教育関係団体の事業費の一部に補助金を交付した。 ・団体数 2団体					
生涯学習振興費 (生涯学習課)	1 二十歳の集い開催費	4,980	—	—	—	4,980
	(説 明) 式典(1部)及び企画委員による記念事業(2部)からなる二十歳の集いを開催し、自立した社会の一員としての自覚を促した。 ○開催月日 7年1月12日 ○内 容 式典、企画委員による記念事業、記念品の贈呈 ○参加者数 1,883人/2,548人					
	2 地域と学校の共創推進事業費	704	国	230	—	474
	(説 明) 学校・家庭・地域が連携協働し、地域全体で未来を担う子ども達の成長を支え、地域教育力の向上につなげた。 ○学校支援活動、地域学校協働活動 ・実施校数 小学校 43校/43校 中学校・特別支援学校 20校/20校					

10款 教 育 費

6項 社 会 教 育 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
文 化 振 興 費 (文化振興課)	1 古閑裕而を活かしたまちづくり事業費	26,266	—	—	基金繰入金 7,915	18,351
	(説 明) 古閑裕而氏と古閑メロディーを活かしたまちづくりを推進するため、各種事業を実施した。 ○「第二回古閑裕而作曲コンクール」の開催 ・募集期間 5年7月21日～6年2月9日 ・応募数 69曲 ・一次審査 6年3月28日(69曲中8曲選考) ・本選会 6月30日 ・会場 ふくしん夢の音楽堂(音楽堂) ○「古閑裕而記念音楽祭2024」の開催 ・開催月日 8月11日 ・会場 ふくしん夢の音楽堂(音楽堂) ・来場者数 523人 ○「ふくしままちなか音楽祭2024」の開催 ・開催月日 10月27日 ・会場 まちなか広場、福島駅東口駅前広場・地下通路、新浜公園ほか ○古閑裕而記念館関連 ・来館者おもてなし事業					
	2 「ふくしまチェンバー・オーケストラ」活動支援事業費	11,362	—	—	基金繰入金 500	10,862
	(説 明) 福島ゆかりのプロの音楽家により構成される「古閑裕而のまち ふくしまチェンバー・オーケストラ」のコンサート開催を支援した。 ○ふくしまチェンバー・オーケストラ公演 ・開催月日 10月27日、11月17日、7年3月2日 ・会場 ふくしん夢の音楽堂(音楽堂) ・来場者数 延べ768人					

10款 教 育 費

6項 社 会 教 育 費

(単位 千円)

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳																																								
			国 支 出 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源																																						
学習センター費 (生涯学習課) (中央学習センター)	1 学習センター運営費	228,043	国 16,005	雑入 3,457	208,581																																						
	(説 明) 社会教育活動の中心施設として、生活に役立つ知識・技能の習得と文化的教養の向上に寄与するため、市民の生涯にわたる各領域ごとの事業を実施した。 また、自主グループの育成、ボランティア活動の推進を通し、コミュニティづくりを促進するとともに、生涯学習のさらなる充実を図るため、学習活動の支援や場所の提供、学習情報の提供、学習相談、図書貸出し等を行った。 さらに、公共施設予約システムを導入し、施設予約や空き状況の確認、支払い手続き等をスマホ等で完結でき、市民がいつでも簡単に施設予約が可能な環境を整備した。 ○学習センター事業実施状況・利用状況 (16館6分館)																																										
	<table><tr><th>区 分</th><th>主 催 事 業</th><th>団体等施設利用</th><th>計</th></tr><tr><td>回 数(回)</td><td>2,875</td><td>45,092</td><td>47,967</td></tr><tr><td>人 数(人)</td><td>111,954</td><td>731,368</td><td>843,322</td></tr></table>					区 分	主 催 事 業	団体等施設利用	計	回 数(回)	2,875	45,092	47,967	人 数(人)	111,954	731,368	843,322																										
	区 分	主 催 事 業	団体等施設利用	計																																							
回 数(回)	2,875	45,092	47,967																																								
人 数(人)	111,954	731,368	843,322																																								
○ふくしまマスターズ大学 (年3回開催) ・参加者数 延べ1,290人																																											
文化施設費 (文化振興課)	1 旧広瀬座再整備事業費	146,163	—	基金繰入金 7,843 債 69,400	68,920																																						
	(説 明) 民家園内にある国指定重要文化財である旧広瀬座の再整備を進めた。 ○旧広瀬座再整備事業 (5～7年度継続事業)																																										
	146,120																																										
	<table><tr><th rowspan="2">年 度</th><th rowspan="2">事業費</th><th colspan="3">左 の 財 源 内 訳</th><th rowspan="2">一 般 財 源</th></tr><tr><th colspan="2">特 定 財 源</th><th>そ の 他</th></tr><tr><th></th><th></th><th>国 県 支 出 金</th><th>地 方 債</th><th>そ の 他</th><th></th></tr><tr><td>5</td><td>28,770</td><td>12,975</td><td>14,100</td><td>1,695</td><td>—</td></tr><tr><td>6</td><td>146,120</td><td>—</td><td>69,400</td><td>7,843</td><td>68,877</td></tr><tr><td>7</td><td>695,033</td><td>329,636</td><td>390,700</td><td>43,574</td><td>△68,877</td></tr><tr><td>計</td><td>869,923</td><td>342,611</td><td>474,200</td><td>53,112</td><td>—</td></tr></table>					年 度	事業費	左 の 財 源 内 訳			一 般 財 源	特 定 財 源		そ の 他			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他		5	28,770	12,975	14,100	1,695	—	6	146,120	—	69,400	7,843	68,877	7	695,033	329,636	390,700	43,574	△68,877	計	869,923	342,611	474,200	53,112
年 度	事業費	左 の 財 源 内 訳			一 般 財 源																																						
		特 定 財 源		そ の 他																																							
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他																																							
5	28,770	12,975	14,100	1,695	—																																						
6	146,120	—	69,400	7,843	68,877																																						
7	695,033	329,636	390,700	43,574	△68,877																																						
計	869,923	342,611	474,200	53,112	—																																						
○文化庁調査官現地指導旅費																																											
43																																											

10款 教 育 費

6項 社 会 教 育 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 収 入	一 般 財 源
図 書 館 費 (図 書 館)	1 図書館運営費	267,855	－	雑入 84	267,771
	(説 明) 本館、分館（西口・子どもライブラリー）及び各学習センターの資料充実とインターネット予約事業により、図書館サービスの充実と読書活動の推進を図った。 また、各種講座等を開催し、読書意欲の喚起に努め、市民の教養・文化の向上を図った。 ○ 利用状況及び蔵書数（7年3月31日現在）				

10款 教 育 費

6項 社 会 教 育 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 収 入	一 般 財 源
	2 子どもの読書活動推進事業費	1,281	－	－	1,281
	(説 明) 「10分読書運動」「ふくしま読書の日」を柱とした読書活動を推進するとともに、子どもの発達段階に応じた読書支援を行った。 中学生、高校生の読書意欲の向上のため、知的書評合戦「ビブリオバトル」を開催した。 ○ブックスタート事業（0～2歳児） ・実 施 内 容 「ブックスタートパック」プレゼント（申込制） ・配 布 人 数 688人 ○ブックステップ事業（3～4歳児） ・実 施 内 容 「ブックステップパック」プレゼント（申込制） ・配 布 人 数 412人 ○学校支援用図書セット貸出事業 ・貸出用図書購入 256冊 ・貸出セット数 372セット ○ビブリオバトル開催 ・開 催 月 日 8月4日 ・参 加 者 数 発表者 10人（中学生5人、高校生5人） ・観 覧 者 数 38人				
	3 学校図書館支援事業費	50,050	－	雑入 255	49,795
	(説 明) 学校司書を小・中学校図書館に配置し、児童生徒の読書活動や学習への支援を行い、学校図書館を活用した教育の充実を図った。 また、学校図書館指導員による学校司書への指導・支援や、図書館・学校・市教育委員会事務局の3者の連携推進により学校図書館の機能強化を行った。 ○学 校 司 書 20人 ○配 置 校 63校（全校配置） ○学校図書館指導員 1人				
	4 電子書籍事業費	4,998	－	－	4,998
	(説 明) 24時間いつでも、どこでも、手軽に使用できる電子図書館を運用した。 また、電子書籍の整備を行い、市民の多様なライフスタイルに合わせた読書環境を提供した。 ○電子書籍タイトル数 13,520冊（7年3月31日現在） ○貸 出 冊 数 23,358冊				

10款 教 育 費

6項 社 会 教 育 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳		
			国 支 出 金	そ の 他 入 収 入	一 般 財 源
こむこむ館費 （生涯学習課）	1 こむこむ館屋根等改修事業費	40,270	－	債 36,200	4,070
	(説 明) 雨漏りの解消等を図るため、屋根改修工事に着手した。 ○こむこむ館屋根等改修工事（6～8年度継続事業） 40,270				
	年 度	事 業 費	左 の 財 源 内 訳		
			特 定 財 源		
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
	6	40,270	－	36,200	－
	7	365,730	－	329,200	－
	8	427,000	－	384,300	－
	計	833,000	－	749,700	－

10款 教 育 費

7項 保 健 体 育 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
体 育 振 興 費 (スポーツ振興課)	1 ふくしまシティハーフマラソン事業費	55,000	—	—	—	55,000
	(説 明) 本市の魅力を全国に発信し、市民のスポーツ活動推進とともに、スポーツによる新たなにぎわいや交流人口の拡大、さらには中心市街地をはじめとする地域経済の活性化、共生社会の実現を図るため、ふくしまシティハーフマラソンを開催した。 ○ふくしまシティハーフマラソン2024 ・開 催 月 日 5月19日 ・会 場 誠電社WINDYスタジアム (信夫ヶ丘競技場) ・種 目 ハーフマラソン、10km、2kmペア、1kmチャレンジ車いす ・参 加 者 4,354人					
	2 スポーツホームタウンにぎわい創出事業費	10,247	—	—	—	10,247
	(説 明) プロスポーツクラブ等と連携し、交流人口の拡大や中心市街地の活性化につながる交流大会や事業等を実施した。 また、ふくしまエールビジョンやNCVふくしまアリーナ (体育館・武道場) を活用してパブリックビューイングを実施し、スポーツを「みる」機会を提供した。					
体 育 施 設 費 (スポーツ振興課)	1 信夫ヶ丘球場整備事業費	109,737	—	—	基金繰入金 9,437 雑入 16,000 債 84,300	—
	(説 明) 防球ネットの増設工事を実施し、施設周辺に居住する市民の財産の安全性の確保とともに、施設利用者の環境改善を図った。 ○信夫ヶ丘球場防球ネット増設工事					

10款 教 育 費

7項 保 健 体 育 費

(単位 千円)

目	事 業 名	事 業 費 (決算額)	決 算 額 の 財 源 内 訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
保 健 給 食 費 (学 校 教 育 課)	1 水泳授業民間プール施設等利用事業費	3,155	—	—	—	3,155
	(説 明) 学校プール施設の老朽化に伴い、学校プールの使用を中止し民間プール施設や市営プール施設等を利用して水泳授業を実施することにより、安全な学習環境の確保や水質管理等による学校の負担軽減を図った。 小規模校において困難である複数の指導者による水泳授業を委託先スタッフや他校との合同授業を行うことで実施して、安全面における指導体制の充実を図った。 ○実施校 3校 (余目小学校、金谷川小学校、下川崎小学校)					
	2 部活動指導体制整備事業費	6,640	県	3,285	—	3,355
	(説 明) 教員の長時間労働を改善し、教材研究や生徒と向き合う時間等を確保できる環境を整えていくため、福島市部活動指導員設置要綱により部活動指導員の設置を行った。 7月からは、「部活サポート職員制度 (ブカ☆サポ)」として、市職員による部活動指導を開始した (5人)。 ○配置人数 15人 (岳陽中学校：3人、西信中学校：2人、福島第一中学校・渡利中学校・清水中学校・大鳥中学校・西根中学校・松陵中学校・信夫中学校・野田中学校・吾妻中学校・飯野中学校：各1人)					

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源
(こども政策課) (教育施設管理課)	3 福島型給食推進事業費	232,984		—	—	232,984
(説明) 子育て支援の一環として学校給食1食あたり130円(給食費の約4割)の保護者負担軽減を図るとともに、学校給食に本市産農産物の使用拡大を図り、地産地消の取組を実施した。						
		実施校数(校)	児童生徒数(人)			
市立	小学校	22	7,205			
	中学校	4	1,390			
	特別支援学校	1	86			
小計		27	8,681			
私立等	小学校	2	689			
	特別支援学校	2	135			
小計		4	824			
計		31	9,505			
(教育施設管理課)	4 学校給食まるとご検査事業費 (復興事業費)	46,783		—	雑入 465	46,318
(説明) 学校給食で使用する食材の放射性物質モニタリング検査を行い、児童生徒に安全で安心な学校給食を提供した。 ○学校給食センター 4カ所 ○単独給食実施校 25校						

目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳			
			国 支 出	県 金	その他の 特定収入	一般財源
学校給食センター費 (教育施設管理課)	1 福島型給食推進事業費	221,403		－	－	221,403
	(説明) 子育て支援の一環として学校給食1食あたり130円(給食費の約4割)の保護者負担軽減を図るとともに、学校給食に本市産農産物の使用拡大を図り、地産地消の取組を実施した。					
		実施校数(校)	児童生徒数(人)			
市立	小学校	21	4,648			
	中学校	15	4,696			
	計	36	9,344			

11款 災害復旧費		1項 原子力災害復旧費		(単位 千円)																								
目	事業名	事業費 (決算額)	決算額の財源内訳																									
			国 支 出	県 金	そ の 他 特 定 収 入	一 般 財 源																						
原子力 災害復旧費 (環境衛生課) 【環境再生推進課】	1 除染事業費	402,636	国 県	1,363 401,273	—	—																						
	(説 明)																											
	除去土壌の搬出を行い現場保管の解消に努めるとともに、仮置場の原状回復工事等を実施し返還を進めた。																											
	○輸送等関連事業費 7,971																											
	・現場保管の解消（除去土壌の仮置場への搬出） 17件																											
	残箇所数 147件（7年3月31日現在）																											
	○仮置場関連事業費 322,036																											
	・仮置場の返還（原状回復）状況（7年3月31日現在）																											
	<table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th rowspan="2">箇所数</th><th colspan="2">工 事</th><th rowspan="2">完 了</th></tr><tr><th>残置物撤去</th><th>原状回復</th></tr><tr><td>仮 置 場</td><td>34</td><td>0</td><td>2</td><td>32</td></tr><tr><td>仮々置場</td><td>7</td><td>0</td><td>0</td><td>7</td></tr><tr><td>計</td><td>41</td><td>0</td><td>2</td><td>39</td></tr></table>						区 分	箇所数	工 事		完 了	残置物撤去	原状回復	仮 置 場	34	0	2	32	仮々置場	7	0	0	7	計	41	0	2	39
	区 分	箇所数	工 事		完 了																							
残置物撤去			原状回復																									
仮 置 場	34	0	2	32																								
仮々置場	7	0	0	7																								
計	41	0	2	39																								
○事 務 費 72,630																												